

参考資料

- 1 計画の策定体制
- 2 計画の策定経過
- 3 附属機関について
- 4 札幌市子ども・子育て支援ニーズ調査結果
- 5 札幌市子どもに関する実態・意識調査結果
- 6 市民ワークショップの結果
- 7 子どもワークショップの結果
- 8 計画案に対する市民意見

1 計画の策定体制

札幌市 ～ 庁内の策定体制 ～

子どもの権利総合推進本部

課長会議

部長会議

本部会議
(局長会議)

市民・関係者等からの意見聴取

計画案策定段階での意見

■附属機関からの意見

【子ども・子育て会議】

新・さっぽろ子ども未来プラン全般についての意見を聴取
(平成25年10月～平成27年3月に開催)

【子どもの権利委員会】

新・さっぽろ子ども未来プランの推進計画部分の意見を聴取
(平成25年9月～平成27年3月に開催)

■アンケート調査

【子ども・子育て支援ニーズ調査】

就学前児童の保護者へのアンケート
(平成25年11月～12月に実施)

【子どもに関する実態・意識調査】

子どもや大人へのアンケート
(平成25年12月～平成26年1月実施)

■ワークショップ

【市民ワークショップ】

子育て家庭や子育て支援従事者等によるワークショップ
(平成25年12月～平成26年1月に実施)

【子どもワークショップ】

小学校5年生～高校2年生までの子どもによるワークショップ
(平成26年7月に実施)

計画案への意見

■パブリックコメント・キッズコメントの実施

【パブリックコメント】

計画案を市民に公表し、広く意見を募集
(平成27年1月～2月に実施)

【キッズコメント】

計画案の子ども向けパンフレットを全小中学校に配布し、意見を募集
(平成27年1月～2月に実施)

2 計画の策定経過

実施時期	札幌市の主な動き	市民・関係者等からの意見聴取
平成25年 9月12日		第2期子どもの権利委員会（第9回）
10月10日		第1回子ども・子育て会議
10月29日		第2期子どもの権利委員会（第10回）
11月20日 ～12月6日		子ども・子育て支援ニーズ調査
12月13日		第2回子ども・子育て会議
12月20日 ～1月15日		子どもに関する実態・意識調査
12月22日		市民ワークショップ（1回目）
平成26年 1月12日		市民ワークショップ（2回目）
1月26日		市民ワークショップ（3回目）
2月6日		第3期子どもの権利委員会（第1回）
2月26日		第3回子ども・子育て会議
3月13日		第4回子ども・子育て会議
4月22日		第3期子どもの権利委員会（第2回）
5月15日		第5回子ども・子育て会議 第3期子どもの権利委員会（第3回）
6月9日		第6回子ども・子育て会議
6月27日		第3期子どもの権利委員会（第4回）
7月29日		子どもワークショップ
8月22日	子どもの権利総合推進本部（課長会議）	
9月4日	子どもの権利総合推進本部（部長会議）	
9月8日		第3期子どもの権利委員会（第5回）
9月25日		第7回子ども・子育て会議
10月6日		第3期子どもの権利委員会（第6回）
10月24日		第8回子ども・子育て会議
10月31日		第3期子どもの権利委員会（第7回）
11月13日	子どもの権利総合推進本部（課長会議）	
11月27日		第9回子ども・子育て会議
12月4日	子どもの権利総合推進本部兼企画調整会議幹事会（部長会議）	
12月17日	子どもの権利総合推進本部兼企画調整会議（局長会議）	
平成27年 1月15日		札幌市議会文教委員会へ報告
計画案の決定		
1月28日 ～2月26日		パブリックコメント
3月20日		第3期子どもの権利委員会（第8回）
3月23日		第10回子ども・子育て会議
3月下旬	市長副市長報告	
計画の策定・公表		

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

参考資料

3 附属機関について

札幌市子ども・子育て会議

本会議は、札幌市の子ども・子育て支援に関する協議のために、「札幌市子ども・子育て会議条例」に基づき設置された附属機関です。子育て当事者や子ども・子育て支援に携わる関係者、学識経験者などから構成されています。会議では、計画案について幅広く意見交換をいただきました。

また、本会議には、特定の分野を専門的かつ効率的に審議するため、「認可・確認部会」及び「放課後児童健全育成事業部会」を設置しています。

【委員名簿】（五十音順、敬称略）

氏名	所属等	所属部会 ◎は部会長
会長 金子 勇	神戸学院大学現代社会学部教授	
副会長 佐藤 淳	北海学園大学経営学部教授	
委員	石田 あやこ	公募委員 放課後
	大久保 薫	さっぽろ地域づくりネットワークワン・オールセンター長
	岡田 光子	北海道子育て支援ワーカーズ代表理事
	小野 志美	札幌市私立保育園連盟副会長
	加藤 欽也	札幌商工会議所政策委員長
	齋藤 寛子	公募委員 認可・確認
	品川 ひろみ	札幌国際大学短期大学部教授 認可・確認◎
	芝木 捷子	札幌市私立幼稚園連合会理事
	柴田 田鶴子	川治あすなる児童育成会副代表 放課後
	下村 勝子	札幌市民生委員児童委員協議会 札幌市主任児童委員連絡会代表幹事
	末岡 裕文	札幌市医師会理事（地域社会部長）
	須藤 桃代	北海道科学大学保健医療学部教授 放課後◎
	坪谷 哲雄	札幌市私立保育園連盟会長 認可・確認
	中井 由紀子	札幌市PTA協議会理事 放課後
	ニコルス 哲子	公募委員 認可・確認
	秦 直樹	札幌市児童養護施設協議会会長
	林 進一	札幌市清田区青少年育成委員会連絡協議会議長 放課後
	平野 直己	北海道教育大学札幌校准教授
	平野 博宣	連合北海道札幌地区連合会事務局長
	前田 元照	札幌市私立幼稚園連合会会長 認可・確認
三井 有希子	全国認定こども園協会北海道地区会副代表 認可・確認	
山田 暁子	札幌弁護士会弁護士 認可・確認	
渡辺 元	札幌市小学校長会事務局次長 放課後	

【子ども・子育て会議の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第1回	平成25年10月10日	○子ども・子育て支援ニーズ調査の実施について
第2回	平成25年12月13日	○部会の設置について ○新計画の策定方針について
第3回	平成26年 2月26日	○各部会で検討した子ども・子育て支援新制度下における各種基準案について
第4回	平成26年 3月13日	○札幌市の子どもの施策の課題について ○新計画の施策体系案について（第3章関係）
第5回	平成26年 5月15日	<第5回のみ> ○保育の必要性の認定に係る就労下限時間の設定について
第6回	平成26年 6月 9日	<第5回、第6回、第7回> ○教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保について（第5章関係）
第7回	平成26年 9月25日	○教育・保育施設及び地域型保育事業に係る利用定員の設定の基本的な考え方について
第8回	平成26年10月24日	○計画素案について
第9回	平成26年11月27日	
第10回	平成27年 3月23日	○市民意見の報告について

【認可・確認部会の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第1回	平成26年 1月30日	○子ども・子育て支援新制度下における各種基準案の検討について （放課後児童健全育成事業に係る基準案を除く）
第2回	平成26年 2月18日	
第3回	平成26年 9月25日	○既存教育・保育施設に係る利用定員の設定案について
第4回	平成26年10月24日	<第4回のみ>
第5回	平成26年11月27日	○幼保連携型認定こども園の認可について <第4回、第5回、第6回>
第6回	平成27年 1月16日	○教育・保育施設及び地域型保育事業に係る利用定員の設定について

【放課後児童健全育成事業部会の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第1回	平成26年 1月31日	○子ども・子育て支援新制度下における放課後児童健全育成事業に係る基準案の検討について
第2回	平成26年 2月18日	

札幌市子どもの権利委員会

本会議は、札幌市における子どもの権利に関する施策の充実を図るとともに、子どもの権利の保障の状況を検証するために、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」に基づき設置された附属機関です。子どもの権利の保障に携わる学識経験者や関係者、高校生を含む公募委員などから構成されています。会議では、新・さっぽろ子ども未来プランにおける推進計画部分（第4章—基本目標1）について幅広く意見交換をしていただきました。

【委員名簿】（五十音順、敬称略）

氏 名		所属等
委員長	千葉 卓	北海学園大学名誉教授
副委員長	土佐林 仁	札幌市中学校長会事務局次長
委 員	大川 哲也	札幌弁護士会子どもの権利委員会委員
	梶井 祥子	札幌大谷大学教授
	北本 義和	札幌市小学校長会事務局長
	木村 あおい	公募委員
	清水 一江	札幌市PTA協議会副会長
	鈴木 利勝	札幌市民生委員児童委員協議会理事
	巽 佳子	公募委員
	豊田 直美	公募委員
	西井 健治	公募委員
	秦 直樹	札幌市児童養護施設協議会会長
	深堀 麻菜香	公募委員
	三河 侑矢	公募委員

【子どもの権利委員会の開催状況】

	開催日	主な協議内容
第2期 第9回	平成25年 9月12日	○子どもに関する実態・調査の実施について
第10回	平成25年10月29日	
第3期 第1回	平成26年 2月 6日	○審議事項の確認及び今後のスケジュールについて
第2回	平成26年 4月22日	<第2回～第7回> ○次期子どもの権利に関する推進計画について <第3回のみ> ○子どもの権利条例に基づく平成25年度の取組状況報告について
第3回	平成26年 5月15日	
第4回	平成26年 6月27日	
第5回	平成26年 9月 8日	
第6回	平成26年10月 6日	
第7回	平成26年10月31日	
第8回	平成27年 3月20日	○市民意見の報告について

4 札幌市子ども・子育て支援ニーズ調査結果

調査概要

1 調査目的

新・さっぽろ子ども未来プランの策定に向けて、事業量の目標設定に必要な幼児期の学校教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の利用の現状・希望を把握するとともに、市民の子育てに関する生活実態や要望・意見などを把握するために実施。

2 調査対象

住民基本台帳（平成25年10月1日現在）から無作為に抽出した、就学前児童（5歳以下）の保護者15,000人

3 調査期間

平成25年11月19日～12月6日

4 有効回答数

6,208件（有効回答率41.4%）

5 調査方法

調査票を郵送し、返信用封筒で回収

【参考】子育ての環境や支援に関する意見内訳（自由記述）

特に意見の多かった上位10項目は次のとおりです。

順位	意見の分類	件数
1	待機児童の解消（保育所や認定こども園の整備等）	253
2	子育てサロン	131
3	屋内型の遊び場の整備	129
4	保育所・幼稚園の保育料	123
5	一時保育（病児・病後児保育以外）	120
6	相談対応	112
7	子育て支援等に関する情報提供	96
8	バリアフリー化（公共空間・交通機関、ベビーカー貸出等）	94
9	ワーク・ライフ・バランス（産休・育休・短時間勤務等）	90
10	同世代・異世代・地域内等の交流	73

※ 本調査に係る個別の調査結果については、

札幌市のホームページ（<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/needs.html>）に掲載しています。

本計画においては、第2章の「札幌市の子ども・子育ての現状」に掲載している各種データのうち、資料「札幌市子ども・子育て支援ニーズ」と掲載されたデータが、本調査に基づく結果の一部になります。

5 札幌市子どもに関する実態・意識調査結果

調査概要

1 調査目的

札幌市における子どもの実態や、子どもを含む市民の意識を把握し、子どもの権利の推進に関する計画策定の基礎資料とすることを目的として実施。

2 調査対象

住民基本台帳（平成25年11月1日現在）から無作為に抽出した、【大人用】（19歳以上）：5,000人、【13歳から18歳用】：3,397人、【10歳から12歳用】：1,603人の計10,000人

3 調査期間

平成25年12月20日～平成26年1月15日

4 有効回答数

【大人用】（19歳以上） 1,687件（有効回答率33.7%）

【13歳から18歳用】 1,098件（有効回答率32.3%）

【10歳から12歳用】 770件（有効回答率48.0%）

5 調査方法

調査票を郵送し、返信用封筒で回収

※ 本調査に係る個別の調査結果については、

札幌市のホームページ(<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/kenri/plan.html#tyousa>)に掲載しています。

計画においては、第2章の「札幌市の子ども・子育ての現状」に掲載している各種データのうち、資料「札幌市子どもに関する実態・意識調査」と掲載されたデータが、本調査に基づく結果の一部になります。

6 市民ワークショップの結果

札幌の子育てを考える連続ワークショップの概要

新・さっぽろ子ども未来プランの策定に当たり、子育て中の札幌市民や、子育て・子育て支援を行っている方々の子育て・子育て支援に関する本音を引き出すとともに、市民目線から課題解決の方策を探るため、ワークショップを開催しました。

1 参加者

子育て当事者や子ども・子育て支援に携わる関係者、学生などの計30名。

2 各回の実施日・内容

第1回「子育ての不安や課題を話し合しましょう！」

- 日時：平成25年12月22日（日）14時～17時
- 目的：子育てをしながら感じている不安や課題の抽出
- 実施概要：
5グループに分かれ「子育てをしながら感じている不安や課題」について抽出

第2回「課題の解決策を考えましょう！」

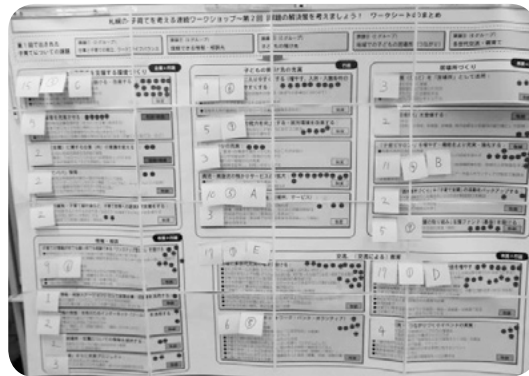
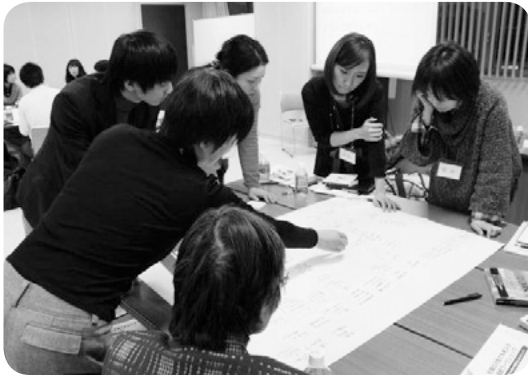
- 日時：平成26年1月12日（日）14時～17時
- 目的：子育てに関する課題を解決する取組のアイデアの抽出
- 実施概要：
 - ・ 前回出された5つの「子育てに関する課題」をそれぞれ5つのグループに割り当て、これらの課題を解決するために考えられる取組のアイデアを抽出。
 - ・ グループワークは、前回同様のグループメンバーで割り当てられた課題について検討するRound1、自分の興味のあるテーマのテーブルに移動して検討するRound2の2ラウンド実施した。

第3回「子育てしやすいまちづくりのために、何が重要か考えましょう！」

- 日時：平成26年1月26日（日）14時～17時
- 目的：特に重要だと考える取組（重要プロジェクト）を抽出すること
「重要プロジェクト」を具体化する方策について検討すること
- 実施概要：
 - ・ 前回出された「取組のアイデア」の中から「重要プロジェクト」を決めるため、参加者がシールで投票。
 - ・ 「重要プロジェクト」（投票結果が5位以内のもの）について5つのテーブルに割り当て、参加者は自身の興味のあるテーブルに移動。「重要プロジェクト」を具体化するための方策について検討した。

3 ワークショップの最終意見概要

重要プロジェクト名	主な意見
病児・病後児の 預かりサービスプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども緊急サポートネットワークの認知度を上げて拡大していくことが必要。 ・必要な時にすぐに預けられることが大切（お金をとるサービスであればいつでも預けられるようにしてほしい）。
みんなが参加できる (協力したい人も集まる) 子育てサロンをつくらう!! プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所や開催回数が多いほうがよい。 ・保育スタッフが子どもと遊ぶなど、母親がリラックスできる時間を設けるべき。 ・ボランティア等で多様な人に参加してもらう仕組みをつくるのが大切。 ・サロンの情報をもっと積極的に発信していくべき。
子育て中の親に関する 労働規制を設ける プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランス認証制度のPRの強化などを積極的に行うべき。 ・企業の就労制度の見直しや休暇の義務化について、行政の働きかけが必要。 ・育休復帰後のキャリアアップのためのプログラムを設ける。
君も明日から親になる!! ～仲良しパパママクラブ～ プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・親育てのための教室・教育機会を増やすべき。 ・お年寄りなど、子育て経験が豊富な人の話を聞きたい。 ・親となる全員が参加できるように取組の広報強化が必要。
地域に共生の場を設ける プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の中に「障がい」「子ども」「高齢者」の枠を超えた「共生型ひろば」を設け、互いに支えあう環境づくりが重要。 ・多様な人を集めるためには、地域コーディネーターが必要。 ・町内会など、まちの情報を持つ人たちと行政がもっとつながり、互いにスキルアップしていく必要がある。



※ワークショップの詳細結果は、

札幌市のホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kodomo/jisedai/needs.html>) に掲載しています。